

乳がん手術後に、もういちど乳房を取り戻す

乳房再建手術

HandBook



監修：乳腺外科 昭和大学病院 プレストセンター長 中村清吾
形成外科 埼玉医科大学 総合医療センター 形成外科・美容外科教授 三鍋俊春

第1章 「乳房再建手術」とは 4

「乳房再建手術」の方法にはどんな種類がありますか

「乳房再建手術」はいつどのように行いますか

第2章 自分のからだの組織を使う「乳房再建手術」 6

自分のからだの組織を使う「乳房再建手術」とはどういうものですか

手術を受ける前に知っておきたいこと。手術・入院期間と費用

《コラム》「脂肪注入」を併用する乳房再建

第3章 シリコンインプラントを使う「乳房再建手術」 10

「乳房再建手術」に使うシリコンインプラントはどのようなものですか

シリコンインプラントによる「乳房再建手術」はどのように行いますか

手術を受ける前に知っておきたいこと。手術・入院期間と費用

第4章 乳頭乳輪の再建 16

乳がん手術で失った乳頭乳輪は再建できますか

《コラム》乳房が人目に触れるときに装着する人工乳頭

第5章 いろいろな不安や疑問にお答えします 17

もっと詳しいことをお知りになりたいときは・・・ 19



「乳房再建手術」は、 すべての乳がん患者さんに与えられた選択肢です。

「乳房再建手術」をご存知でしょうか。

乳がん手術によって損なわれた乳房の形を元に戻すために行う
形成外科分野の手術です。

乳がん手術によって胸のふくらみが損なわれることで、
女性らしさの象徴が失われ、
自分自身までをもなくしてしまったような
つらく悲しい思いをする患者さんは少なくありません。



でも、「乳房再建手術」を受けることで、
じっさいに多くの患者さんたちが
きれいな乳房と自信にみちた人生を取り戻しています。



「乳房再建手術」は、正しい理解からはじまります。

そして「乳房再建手術」を受けるかどうかは
あなた自身の選択にゆだねられています。



この冊子では「乳房再建手術」の基本についてご説明します。
お読みになって、もっといろいろなことを知りたいと思われたら、
ぜひとも専門の医師と納得のいくまで話し合ってみてください。
あなたにいちばん適した「乳房再建手術」とはどのようなものか
適切なアドバイスを受けることができるでしょう。





《第1章》「乳房再建手術」とは

「乳房再建手術」の方法にはどんな種類がありますか

「乳房再建手術」には大きく分けて、患者さん自身のからだの組織を移植する方法と、シリコンなどでできた人工物を挿入する方法があります。

1 自分のからだの組織(自家組織)を使って再建する方法

患者さんの背中やお腹の筋肉と脂肪組織、またはお腹の脂肪組織を乳房に移植する方法が一般的です。背中やお腹の組織をとった場所に傷あとが残り、手術時間・入院期間も長くなりますが、自分のからだの組織を使うため自然なやわらかさや温かみがあります。

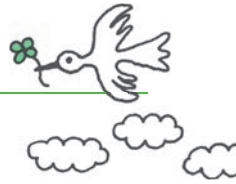
2 シリコンインプラントを使って再建する方法

シリコン製の人工乳房(インプラント)を入れる方法で、胸の皮膚と筋肉を拡張するティッシュ・エキスパンダー(P11参照)を併用するのが一般的です。人工物なのでやや硬く温かみに欠けますが、手術で新たな傷あとをつくることなく、手術時間・入院期間も短くて済みます。

3 両方を組み合わせる方法

インプラントだけではきれいに再建できない場合や、逆に自家組織だけでは乳房のボリュームを出すのに足りない場合は、自家組織とインプラントを併用することもあります。





「乳房再建手術」はいつどのように行いますか

「乳房再建手術」は、乳がんの治療が終わっていれば、原則としていつでも望むときに行えます。手術に適したタイミングや方法は患者さんの状況によって異なります。

1 手術を行うタイミング

「乳房再建手術」を行うタイミングには、①乳がん手術と同時に行う“一次再建”と、②乳がん手術を終えてから一定の期間をおいて行う“二次再建”の2種類があります。

2 再建が完成するまでの手術回数

手術の回数別では、①1回の手術で再建を完了する“一期再建”と、②最初にティッシュ・エキスパンダー（P11参照）を挿入し、胸の皮膚と筋肉を引き伸ばした後に再建を完成させる“二期再建”の2種類があります。

*「一次再建」と「二次再建」にはそれぞれ、次のような長所と短所があります。

	乳がん手術と同時に行う 【一次再建】	乳がん手術後、一定期間を おいてから行う【二次再建】
一期再建	1回の手術で完成させる場合 “一次一期再建”という	1回の手術で完成させる場合 “二次一期再建”という
二期再建	エキスパンダー使用後に完成させる場合 “一次二期再建”という	エキスパンダー使用後に完成させる場合 “二次二期再建”という
長所	<ul style="list-style-type: none">• 乳房の喪失感がない• 入院期間が短く、経済的・身体的負担が少ない• 一次二期再建では、エキスパンダー挿入中に、再建方法を熟考する時間がある	<ul style="list-style-type: none">• まず、乳がん治療に専念できる• 再建手術についての情報収集と熟考の時間がある• 乳がん手術とは別の施設で再建を行うこともできる
短所	<ul style="list-style-type: none">• 一次一期再建では手術について熟考する時間があまりない	<ul style="list-style-type: none">• 再建手術の回数が増える（最低でも2回）• 入院手術費用が増える



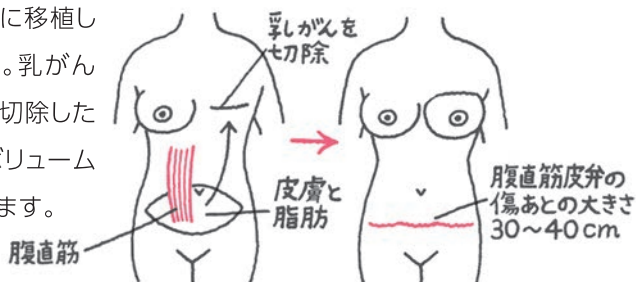
《第2章》 自分のからだの組織を使う「乳房再建手術」

自分のからだの組織を使う「乳房再建手術」とは どのようなものですか

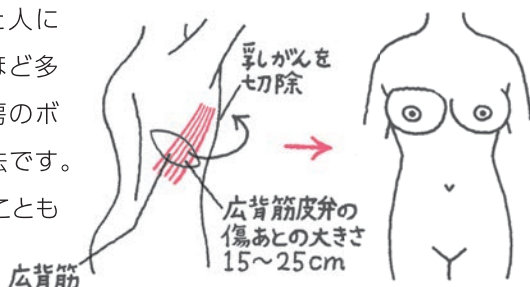
患者さん自身のからだの組織(自家組織)を使う「乳房再建手術」では、背中やお腹の筋肉と脂肪組織、またはお腹などの脂肪組織を乳房に移植する方法が一般的です。

1 背中やお腹の筋肉、皮膚、脂肪を移植する方法

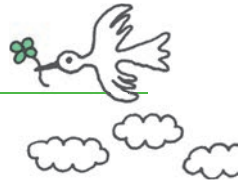
◎**腹直筋皮弁法(ふくちよくきん ひべんほう)** お腹の筋肉(腹直筋)、皮膚、脂肪に血管をつけた状態の組織を胸に移植して乳房をつくる再建方法です。乳がん手術で皮膚や筋肉を広範囲に切除した人にも適した方法で、乳房のボリュームが比較的大きい方に向いています。



◎**広背筋皮弁法(こうはいきん ひべんほう)** 背中の中の筋肉(広背筋)、皮膚、脂肪に血管をつけた状態の組織を胸に移植して乳房をつくる再建方法です。乳がん手術で皮膚や筋肉を広範囲に切除した人にも適しています。背中にはそれほど多くの筋肉や脂肪がないので、乳房のボリュームの少ない方に向いた方法です。シリコンインプラントを併用することもあります。

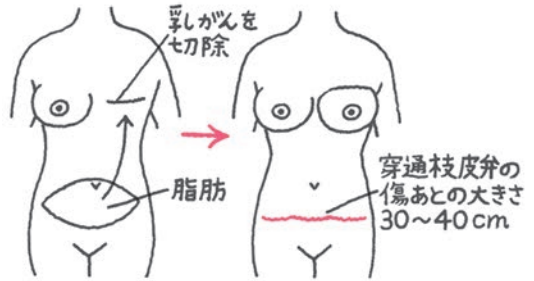


※お腹の組織を使った手術の際に切除されたおへそは再建されます。



2 お腹などの皮膚と脂肪組織を移植する方法

◎穿通枝皮弁法(せんつうし ひべんほう) 筋皮弁法のように筋肉を使わず、お腹などの脂肪組織を、脂肪組織につながった細い血管ごと胸に移植して乳房をつくる再建方法です。筋肉組織を取らないので、身体機能への影響が少なくすみ、脂肪組織を使うため、乳房が下垂気味でも自然な再建が行えます。



《専門医のコメント》

やわらかく温かい、 自然な乳房が再建できる自家組織

埼玉医科大学 総合医療センター 形成外科・美容外科教授
三鍋俊春 医師



自家組織を使う「乳房再建手術」は、手術時間が長く、傷あとが残るという点が強調されがちですが、一度手術をすれば、原則としてあとは何もしなくてもいい“メンテナンスフリー”という代えがたい特長があります。からだの組織を使うので、やわらかく温かな乳房を再建することができ、仰向けになれば体側方向に広がる、痩せたり太ったりすれば同じように大きさが変化する、加齢によって下垂するという自然さが、自家組織を使ういちばんの良さといえます。最近では、乳がんの術後に発生しやすいリンパ浮腫を、自家組織の移植によって乳房再建と同時に治療する方法も広がってきています。



自家組織を使う「乳房再建手術」の留意点は何ですか

1 手術を受ける前に知っておきたいこと

自家組織で再建した乳房には自然なやわらかさと温かみがあります。自分のからだの組織なので免疫反応が起きませんが、移植する組織を取る部分に傷あとが残り、手術時間・入院期間が長くなります。外科手術に伴う合併症のリスクにも考慮する必要があります。

◎腹直筋皮弁法の留意点

- 下腹部に傷あとが残ります。
- 筋肉の一部を取るため腹筋が弱くなり、腹部の手術を受けた人や、妊娠・出産を計画している人には適していません。

◎広背筋皮弁法の留意点

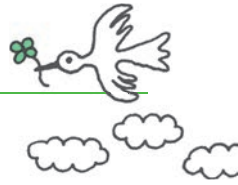
- 背中に傷あとが残ります。
- 主に筋肉で乳房をつくるため、再建した乳房が多少縮むことがあります。

◎穿通枝皮弁法の留意点

- 下腹部に傷あとが残ります。
- 過去に腹部の手術を受けていても行えますが、妊娠・出産を計画している人には適していません。
- 高度な技術が必要で、手術を行える医療施設・形成外科医に限られています。

2 手術・入院期間と費用

移植する組織を採取する手術を行うため、手術時間と入院期間が長くなります。手術・入院期間および費用の目安は次ページのとおりです(手術・入院期間はその方の体質などによって個人差があります)。



手術時間	5～10時間
入院期間	1～3週間（施設によって異なります）
入院・手術費用	30万～60万円

※入院・手術費用は健康保険（3割負担）の自己負担額の目安です。高額医療費の払戻し制度の適用を申請すると、**実質的な負担額は9万～14万円程度**となります（P15もご参照ください）。

《コラム》



「脂肪注入」を併用する乳房再建

「乳房再建手術」に際して、患者さんの脂肪細胞を注入する方法があります。これは主に、シリコンインプラントによる「乳房再建手術」の際、胸元のへこみやインプラントの境目のしわが目立つ場合などに補助的に使われる方法で、その部分に脂肪細胞を注射器で注入して形を整えます。短時間で行えるうえ、傷あともほとんど残りません。

注入に用いる脂肪は、専用の吸引器具を使って患者さんのお腹から採取します。これを遠心分離機にかけて脂肪細胞だけを取り出し、筋肉や皮下組織に注入します。ただし、脂肪細胞がからだの組織として定着する率が高くないので複数回の注入が必要になることがあり、一回に大量には使えないため乳房のボリュームの大きな方には向かない、健康保険がきかないなどの欠点もあります。

最近では、採取した脂肪組織のなかから将来脂肪細胞に成長する“幹細胞”だけを抽出・培養し、脂肪細胞と混ぜて乳房に注入する方法も開発されています。脂肪細胞だけを注入するより定着率が高いなど多くの利点がありますが、現在はまだ臨床研究の段階で、国内でも限られた施設でしか行うことができません。





《第3章》シリコンインプラントを使う「乳房再建手術」

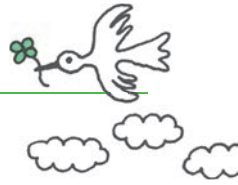
「乳房再建手術」に使うシリコンインプラントはどのようなものですか

「乳房再建手術」に用いるシリコンインプラントにはさまざまな種類があります。主治医と相談しながら、ご自分にもっとも適したタイプを選択しましょう。

1 シリコンインプラントの種類

現在、乳がんによる乳房再建手術において健康保険が適用されるのは、次の3種類のシリコンインプラントです。いずれも手術後にマンモグラフィ検査が受けられます。

アナトミカル型のテクスチャードタイプ（右ページ写真①）	
形状	下方に厚みのあるしずく型
表面加工	表面に凹凸加工が施されたタイプ。インプラントの周囲に薄い膜ができて“被膜拘縮（ひまくこうしゅく・P14参照）”という免疫反応を起こしにくい
内容物	粘度が高く、外に漏れ出しにくいシリコンジェル
ラウンド型のテクスチャードタイプ（右ページ写真②）	
形状	まるいおわん型
表面加工	表面に凹凸加工が施されたタイプ。“被膜拘縮”を起こしにくい
内容物	アナトミカル型よりやわらかめのシリコンジェル
ラウンド型のスムーズタイプ（右ページ写真③）	
形状	まるいおわん型
表面加工	表面がつるつるしたタイプ。凹凸加工のタイプに比べて“被膜拘縮”を起こしやすい
内容物	アナトミカル型よりやわらかめのシリコンジェル



2 ティッシュ・エキスパンダー

インプラントを入れる前に、ティッシュ・エキスパンダー（組織拡張器）を大胸筋の下に挿入して、胸の皮膚と筋肉を伸ばすことが一般的です。

挿入後、およそ半年をかけて、注入口から生理食塩水を足してエキスパンダーを徐々に膨らませ、皮膚と筋肉が十分に伸びたところでインプラントに入れ替えて再建手術を完成させます（患者さんの希望や状況によって、エキスパンダー挿入後に自家組織による手術を選ぶこともできます）。

健康保険が適用されるのは写真④⑤の2種類のティッシュ・エキスパンダーです。写真④のアナトミカル型のものが「乳房再建手術」専用のものです。

◎シリコンインプラント



1



2



3

◎ティッシュ・エキスパンダー



4



5

写真提供

①～④アラガン・ジャパン
株式会社

⑤株式会社高研



シリコンインプラントによる「乳房再建手術」はどのように行いますか

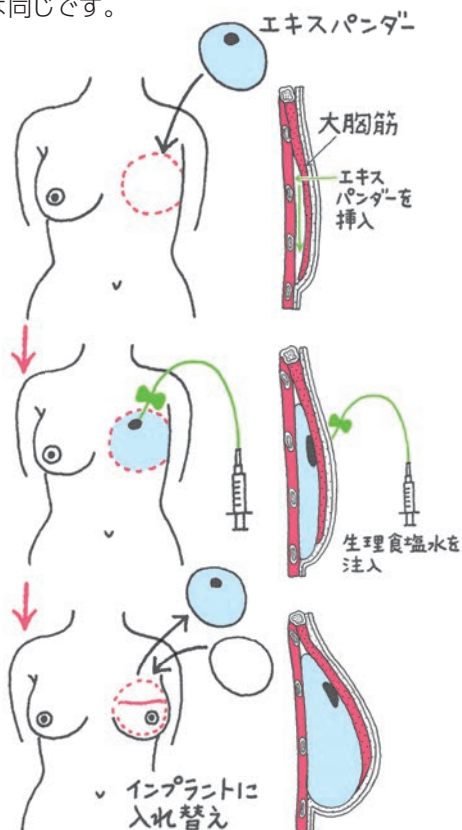
シリコンインプラントを使う「乳房再建手術」には、主に次のような種類があります。先にティッシュ・エキスパンダーを使って皮膚や筋肉を伸ばす方法が一般的です。

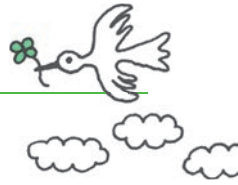
1 ティッシュ・エキスパンダーを使う方法

現在もっとも一般的に行われているのは次の2つの方法です。いずれもエキスパンダーを入れるタイミングが違っただけで、方法は同じです。

① 乳がん手術と同時にエキスパンダーを入れ、後にインプラントに入れ替えて再建する方法(一次二期再建):乳がん切除時にティッシュ・エキスパンダーを大胸筋の下に挿入し、およそ半年をかけて皮膚と筋肉を伸ばした後、同じ傷あとからインプラントに入れ替えて乳房再建を完成させます。

② 乳がん手術後に一定期間をおいてエキスパンダーを入れ、後にインプラントに入れ替えて再建する方法(二次二期再建):乳がん手術を終えてから時間が経っている場合は、乳がん手術の傷あとを切開してティッシュ・エキスパンダーを挿入し、皮膚と筋肉を伸ばした後、インプラントに入れ替え乳房再建を完成させます。





2 ティッシュ・エキスパンダーを使わない方法

- ① 乳がん手術と同時にインプラントを入れる方法(一次一期再建):乳がんの切除と同時にインプラントを挿入して乳房再建を完了する方法。
- ② 乳がん手術後に一定期間をおき、エキスパンダーを使わずにインプラントで再建する方法(二次一期再建):乳房のボリュームが比較的小さい方に限られる方法です。
※ただし、いずれもあまり一般的な方法ではありません。

《専門医のコメント》

きれいな乳房再建は その方に適合したインプラントを選ぶことから

医療法人社団プレストサージャリークリニック院長
岩平佳子 医師



2013年7月に一部のティッシュ・エキスパンダーとシリコンインプラントが健康保険の適用対象となりました。なかでも2014年1月に保険適用となったアナトミカル型(しずく型)のインプラントは、内容物の粘度が高くより安全性に優れたタイプのもので、手術を希望される方にも朗報となりました。

ただアナトミカル型のインプラントについては、これを使えばきれいに再建できるという誤解が多いのですが、重要なのは200種類以上もあるなかから、その人に合ったインプラントをきちんと選択することです。逆に、乳房の形や大きさによってはラウンド型のインプラントのほうが向いている方もいらっしゃいます。インプラントによる「乳房再建手術」を希望される方は、こうした観点からきちんと診察と説明に時間を割いてくれる形成外科医のもとで、納得のいく「乳房再建手術」を受けるようにしてください。



シリコンインプラントを使う 「乳房再建手術」の留意点は何ですか

1 手術を受ける前に知っておきたいこと

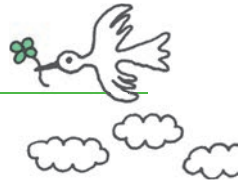
シリコンインプラントを使う「乳房再建手術」は手術・入院の期間が短く、自家組織を使う手術より時間的・経済的・身体的な負担が小さいという良さがありますが、人工物を使うことによるさまざまな留意点があります。

◎合併症のリスク

- 人工物を体内に入れることで感染症を招くことがあります。感染症は、手術から長期間を経ても起きることがあり、その場合はインプラントを取り出して再建手術をやり直すこととなります。
- 異物に対する免疫反応として、インプラントの周囲に薄い膜が生じ、硬く締まって痛む“被膜拘縮(ひまくこうしゅく)”という合併症が起きることがあり、日常のケアが必要です(テクスチャードタイプのインプラントでは起こりにくいとされます)。
- 乳がんの治療で放射線照射を受けた人は、血流が悪くなり種々の合併症を起こしやすい傾向があります。

◎将来的な入れ替え

- インプラントには永久的な耐用性は保証されておらず、さまざまな理由で破損することもあります。現在使用されるインプラントはいずれも安全性の高いものではありますが、10～20年後の入れ替えを視野に入れておくことが望ましいとされています(入れ替えの際に、自家組織での再建に切り替えることもできます)。
- 加齢に伴う乳房の下垂がないので、将来的に左右バランスをそろえる手術が必要になることもあります。



◎手術後のケア

- “被膜拘縮”を防ぐため、特にスムーズタイプのインプラントを使う場合は医師の指導によるマッサージが必要です。
- 手術の直後はインプラントの位置がずれないように、専用のブラジャーの使用を勧める医療施設もあります。

■ 2 手術・入院期間と費用

ティッシュ・エキスパンダーとシリコンインプラントを使う場合の手術・入院期間および費用の目安は次の通りです。

	ティッシュ・エキスパンダー	シリコンインプラント
手術時間	30分～1時間	30分～2時間程度
入院期間	日帰り～1週間程度	日帰り～1週間程度
入院・手術費用	10万～20万円	30万円程度

※シリコンインプラントを使う「乳房再建手術」には長らく健康保険が適用されませんでした。2013年に厚生労働省は「乳房再建手術」での使用を条件に一部のティッシュ・エキスパンダーとシリコンインプラントの保険適用を認可しました。上記は、すべて保険適用対象のエキスパンダーとインプラントを使用した場合の入院・手術費用の自己負担額（3割負担）の目安です。

※高額医療費の払戻し制度の適用を申請すると、**実質的な負担額は9万～14万円程度**となります（所得や年齢、入院期間により異なります）。自己負担限度額の計算方法は全国健康保険協会のウェブサイトをご参照ください(<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/g3/cat310/sb3030>)。

※保険適用のティッシュ・エキスパンダーとシリコンインプラントによる「乳房再建手術」は、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会が実施施設として認定した医療施設でのみ行えます。認定施設一覧は、同学会のウェブサイトに公開されています(<http://jopbs.umin.jp/>)。



《第4章》 乳頭乳輪の再建

乳がん手術で失った乳頭乳輪は再建できますか

乳がん手術で乳頭乳輪を切除したときは、「乳房再建手術」から半年ほどの期間をおいて乳頭乳輪部分を再建することができます。いずれも外来で日帰り手術が可能です。

◎乳頭の再建

- 反対側の乳頭の一部を移植する
- 再建した乳房の皮膚を星形に切って立体的に組み立てる…などの方法があります。

◎乳輪の再建

- 反対側の乳輪の一部を移植する
- 足の付け根の色の濃い皮膚を移植する
- 刺青(タトゥー)で着色する…などの方法があります。

※刺青以外の方法には健康保険が適用され、費用は3万円前後です(刺青は10万～20万円程度)。

《コラム》

乳房が人目に触れるときに装着する人工乳頭があります

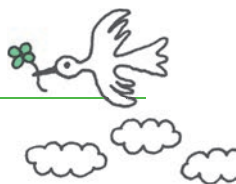


患者さんによっては「胸の膨らみができれば十分」と、乳頭乳輪の再建までは行わない方もいらっしゃいます。そうした方が、家族や友人との温泉旅行など、乳房が人目に触れる場面で一時的に装着する人工の乳頭乳輪があります。

複数のメーカーが扱っていて、シリコンで型取りしてつくる完全オーダーメイドから既成品までさまざま。費用は3万～10万円程度です。肌に安全な接着剤で装着します。

写真提供：株式会社マエダモールド

《第5章》 いろいろな不安や疑問にお答えします



1. 抗がん剤やホルモン治療中、または放射線照射後でも

「乳房再建手術」は受けられますか？

抗がん剤治療中は白血球が減少し、傷が治りにくく感染症のリスクが高まります。抗がん剤の副作用のあらわれ方も人によって違いがあるので、まずは乳がん治療を優先することが賢明です。**ホルモン治療中**（通常5～10年間）の乳房再建は可能ですが、ホルモンの影響で体形や胸の大きさが変わりやすく、治療後に左右バランスを整える手術を行うことがあります。**放射線**の照射は皮膚や皮下脂肪を硬くし、組織の血行を悪くして傷の治りが遅くなることがあるため、ティッシュ・エキスパンダーを入れる際にはより合併症に注意する必要があります。放射線照射による再建手術への影響は、終了後1年以上経過すれば小さくなります。

2. いわゆる“トリプルネガティブ”でも「乳房再建手術」は受けられますか？

乳がんの発生と増殖に関するHER2、エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体という3つの因子と無関係に発生する“**トリプルネガティブ**”というタイプの乳がんは、これらの因子に対応するハーセプチンという薬やホルモン剤が効かず、手術後の予後が悪く再発リスクが高いとされています。しかしこうした方が「乳房再建手術」を行うことが、乳がんの再発に悪影響を及ぼすという報告はなく、がん細胞の存在が認められないのであれば、再建に問題はないと考えてよいでしょう。





3. 喫煙者は「乳房再建手術」が受けられないというのはほんとうですか？

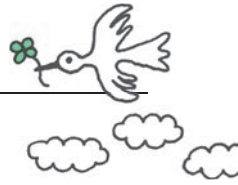
傷あとがきれいに治るのは**末梢血管**によって運ばれる酸素や栄養素の働きによるものです。ニコチンには末梢血管を縮小させ血行を悪くする作用があり、一般に喫煙者は手術の傷が治りにくくなります。傷の治りが遅いと感染症を起こす危険性も高まります。乳頭乳輪の形成手術でも、喫煙者は乳頭の先端まで血液がめぐりにくく、形成した乳頭が壊死して取れてしまうこともあり、喫煙習慣のある方はハイリスクとなります。

4. 何十年も前に乳房の全摘手術を受けていても「乳房再建手術」は受けられますか？

乳がん手術から何年経過していても「乳房再建手術」を行うことは可能です。高齢でも、他に大きな病気がなく、全身麻酔がかけられる健康状態であれば基本的に問題はなく、乳房再建への前向きな気持ちがあれば、手術を受ける年齢にリミットはありません。ただし高齢者の乳房は下垂や萎縮していることが多く、インプラントではそうした形の乳房の再建は難しくなります。1970年代以前に行われていた、皮膚や筋肉を広範囲に切除する手術を受けている方も、自家組織を使う再建のほうが適しています。

5. 乳がん治療や「乳房再建手術」を受けたあと、妊娠・出産はできますか？

将来的に**妊娠・出産**を考えている方が「乳房再建手術」を受けることに何ら問題はありませんが、腹部の自家組織を使う手術は適しません。広背筋皮弁やインプラントによる手術であれば妊娠には影響しません。乳がん手術後に抗がん剤治療を行う場合は、白血球数が正常に戻るまで待って再建します。ホルモン治療のみの場合は手術後6カ月、放射線治療を行った場合は終了後1年以上の期間をおくことが一般的です。



6. 乳がん治療中に再発や転移がわかった場合「乳房再建手術」は受けられますか？

「乳房再建手術」の際に全身麻酔をかけると、どうしてもある程度の免疫力の低下を招きます。抗がん剤治療中は免疫力を下げないほうがよいので、こうした場合は再建を先送りにすべきと思われるかもしれません。ただし比較的短時間で終わるインプラントによる手術であれば、乳腺外科医が許可する可能性もあります。万一、術後に合併症が起きたときには乳がん治療にも影響があります。乳がん治療に専念することが基本ですが、どうしても再建を希望される場合は必ず乳腺外科医と形成外科医が緊密な連携をとれる態勢の整った医療施設で医師とよく話したうえで、再建手術を受けるようにしてください。



もっと詳しいことをお知りになりたいときは…

日本乳癌学会 <http://www.jbcs.gr.jp/>

患者さんのための乳がん診療ガイドライン(日本乳癌学会) <http://jbcsfpguideline.jp/>

日本形成外科学会 <http://www.jsprs.or.jp/>

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 <http://jopbs.umin.jp/>

がん情報サービス(国立がん研究センター運営) <http://ganjoho.jp/public/>

NPO法人がんサポーターネットワーク(がん全般) <http://www.cancernet.jp/>

がんチャンネル(がん医療情報を動画やSNSで配信) <http://www.cancerchannel.jp/>

がんナビ(日経BP社運営) <http://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/cancernavi/>

がんサポート(がん患者と家族のための支援情報) <http://gansupport.jp/>

NPO法人エンパワリング プレストがんセンター(E-BeC。乳房再建手術全般) <http://www.e-bec.com/>



「乳房再建手術」はオーダーメイドの手術です。その方のライフスタイルや価値観、乳がん治療の状況、体形など、さまざまな要素を吟味して、主治医は個々の患者さんにもっとも適した手術方法を判断します。それは必ずしも希望する手術方法ではないかもしれませんが、主治医はあなたが乳房再建後に送りたいと望む暮らしを実現するために、いちばんよい方法を一緒に考えてくれるはずです。まずは主治医と十分なコミュニケーションを重ねてください。再建手術経験者の話を聞いたり、信頼できるウェブサイトなどで正確な情報を集めたりすることも、「乳房再建手術」をよく知ることの助けとなることでしょう。ぜひとも納得のいく手術を受けていただきたいと願っています。



この冊子は、アラガン・ジャパン株式会社のご支援で制作しました。
<http://www.allergan.jp/>



企画・制作：NPO法人エンパワリング プレストキャンサー
<http://www.e-bec.com/>

本冊子の内容の無断転載・複製は禁じられています。
内容を引用する際には必ず出典を明記してください。
発行：2015年6月 JAP/0049/2014c06